





## 審査結果報告書

2022年 8 月 25 日

主査	氏名	三枝 信	
副査	氏名	武田 啓	
副査	氏名	石山 博條	
副査	氏名	天野 英樹	

1. 申請者氏名 : 森 亘平

2. 論文テーマ : Expression of Membranous CD155 Is Associated with Aggressive Phenotypes and a Poor Prognosis in Patients with Bladder Cancer  
(膀胱癌患者における膜型 CD155 発現は悪性度と予後不良に関連する)

3. 論文審査結果 :

膀胱癌は、尿路系癌全体の約 50%以上を占め、多くの症例が外科的切除後に再発し、特に組織学的異型度の高い癌は予後不良である。このため、早期診断や高悪性度の判別できるバイオマーカーの同定が必要である。

ポリオウイルス受容体として細胞表面に存在する CD155 は、様々な悪性腫瘍で悪性度や予後との相関が報告されている。そこで、申請者は、膀胱癌における CD155 のバイオマーカーとしての有用性を検討した。外科的切除された 103 例の膀胱癌検体を対象に免疫組織学的に CD155 発現を検索した。その結果、膜型 CD155 発現は、腫瘍ステージ、病理学的悪性度、リンパ節転移と相関した。更に、癌特異的生存率が短かった。一方、細胞質型 CD155 では、その様な関連性は認めなかった。また、膜型、細胞質型のいずれの CD155 発現は PD-L1 との関連性を認めなかった。以上から、申請者は、膀胱癌では、膜型 CD155 発現がその悪性度と生命予後不良に関連し、術後予後の指標となるバイオマーカーに成り得ると結論付けた。

公開審査では、申請者は主論文の内容について約 25 分にわたり詳細な発表を行い、その後の審査員からの多種多様な質問について適切に答えることができた。審査員は、学位論文の内容の高さ、質疑応答の的確さから、医学博士の学位に十分値する判断した。